

有限会社守安ハウジングパーク

コンクリート施工の工期短縮とコスト削減を実現

コンクリート溝型枠資材「みぞっこ」の開発・販売



■ コンクリート工事の強い味方、「みぞっこ」の全国展開を目指す

有限会社守安ハウジングパークは昭和46年の創業以来、建築・土木・エクステリア工事・不動産事業を通じて、地域社会の発展に貢献している。駐車場工事などでコンクリートの施工を行う際、コンクリート面に生じるひび割れを未然に防止するため、予め溝をつくる。その型枠には板材が使用されるが、施工場所や面積によっては作業が煩雑になり、板の枚数・種類ともに多くなる。そのため施工の長期化、施工費の増加、板材の廃棄処理といった問題が生じてくる。同社ではダンボールや古紙を利用して環境にやさしい製品がで

きないかを検討。その結果、生まれたのが、板材の代わりとなるコンクリート溝型枠資材「みぞっこ」だ。最大の特徴は施工後、土中の微生物により分解されて土に還元すること。板材のように撤去し、廃棄するための手間と費用がかからない。環境にやさしく、工期短縮やコスト削減に繋がる。同社では「みぞっこ」の改良と量産化に向けて、新たなみぞっこ面取り鋺（コテ）の金型を製作し、穴あけ加工機を導入した。量産化が実現した際は、エクステリアの代理店36社で構成される「オンリーワンクラブ」を通じて全国展開を図る。

開発背景

ダンボールの再利用で型枠を考案

社内のダンボールで何か製品が作れないかと考えたのがきっかけ。コンクリート工事の溝の型枠に板材を使用した場合、工事規模によっては施工の長期化と費用の増加が生じる。さらに板材は産業廃棄物として処理する必要があり、手間と費用がかかる。ダンボールを溶かして固めたものが型枠として利用できれば、施工の短期化とコスト削減に繋がるのではないかと考えた。

事業成果

全国展開で着実に売上アップ

「みぞっこ」のAタイプとBタイプ、Aタイプ専用の面取り鋺は、オンリーワンクラブの販売代理店を通じて全国に販売されており、売上は着実に伸張。製品は同クラブのカatalogにも載っている。軽くて取り扱いやすく、カッターナイフで切断できるので長さの調整が簡単。30mの溝を施工する場合、板材を使用すると二人で丸1日かかるが、「みぞっこ」なら約3時間で完了する。

企業から一言

積極的な製品アピールを図りつつ、R型の製品化を目指す

多くの施工業者さんに評価していただき、西日本を中心に製品の売れ行きは好調です。社内のダンボールを何かに再利用できないかと考えた末、「みぞっこ」の開発に結び付けました。岡山での製造が無理で、紹介いただいた愛知県の企業に依頼。当初考案したAタイプは手作業で張り合わせるため量

実施内容

2タイプの「みぞっこ」を製造

最初に製造したのがAタイプで、ダンボール板（古紙）に穴を開けたシートを10枚張り合わせ必要な厚みを持たせた。その施工に欠かせない専用面取り鋺（特許取得済）も開発、製品化した。その後、製造方法を変えて新たな試作を実施。ダンボール（古紙）と水を攪拌し、型に入れプレスして乾燥させて固めた。試作の成功により特許を取得し、愛知県の工場でBタイプとして製造を開始した。



産ができず、シートがずれて不良になる欠点がありました。そこで材料と型を改良し、量産が可能なBタイプを開発しました。今後は製品アピールを積極的に行うとともに、要望の強いR型の製品化を目指しています。

取締役会長 守安 紀彦



事業者の概要

代表者名 守安 克治
設立年月 昭和53年1月
所在地 〒719-1125 岡山県総社市井手964
TEL/FAX TEL.0866-93-1030 FAX.0866-92-3888
URL <http://mizocco.com/company/>
資本金額 600万円
従業員数 5人
業種 エクステリア工事・建築・土木・不動産事業
事業計画名 コンクリートのひび割れ防止溝の形成体（みぞっこ）の改良開発